

支部活動報告



埼玉県支部

「悩み解決・就職相談会」

日時:平成24年11月18日(日曜) 13:00~16:00

場所:東京理科大学神楽坂校舎622教室

第一部:東京理科大学 就職課 石川 港太郎様

第二部:埼玉県県土整備部建設管理課 田中 勝也様

第三部:東京理科大学卒業生現数学教諭 渡辺 マユコ様

はじめに

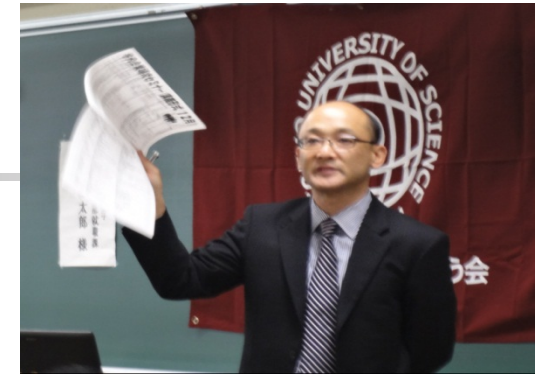
■ 支部長挨拶

- 来月より民間の就職活動が始まり、保護者の時代と大幅に異なった、就職活動が必要になっています。
- 大学側の対応状況、公務員試験に臨むために参考になる話、現役教職員の話を準備しております。
- 親としても、今回の相談会を通じて、現状の就活状況をよく理解し、子供たちの相談にのってあげる必要がありますので、今回の相談会をその一助にしていただければと思います。



こうよう会 埼玉支部長 小森谷 清

第一部:大学から見た就職活動に関して-1/2



■ 講師紹介

- 東京理科大学学生支援部就職課 石川 港太郎 様
 - ✓ 現職の以前は電機メーカーの海外事業部／人事部を歴任されており、大学側・企業側の両面からのお話をいただいた。

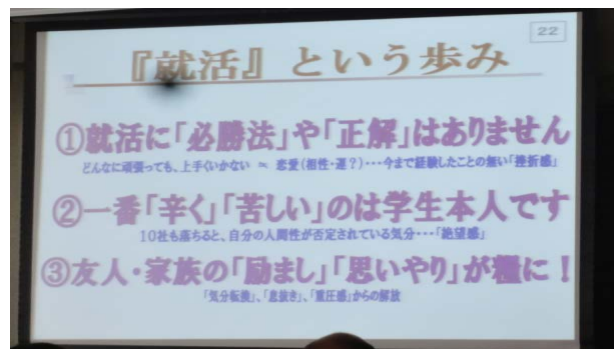
■ 講演内容

- 業界/企業によって採用学生に特色があり、学部/大学院の優位性が異なる。自分の目指す、業界/企業の特色を良く知っておくこと。
 - ✓ IT業界、生産技術、品質関連に関しては、学部/大学院の大差が出ないケースが多い。
- 就職活動のスタートは、まずしっかりと自己分析を行い、「なぜ働くのか」「どこで働くのか」をよく考えて就活スケジュールに望む必要がある。
- 外資系メーカーは日本の企業と違うスケジュールで動いているので要注意である。外資系に興味がある場合は、各人で積極的に各社のHP等に情報を取りに行く必要がある。
- 希望が企業/公務員のどちらであっても、プレゼンテーション能力の向上は非常に重要。第三者の目でみて、自分の見解がどう映るのか、あらゆる機会を積極的に活かす心構えが必要がある。
- 大学院に進む場合、大学院に入ってからでも遅くはないが、何千社、何万社、グローバルで見ればもっとある中で、希望の職種につく為には、学部の低学年のうちから大雑把でも良いから、目標を設定して活動しておくことが、最終的には非常に有効。
- 推薦で決まるのは昔の話で、今はあくまで人物重視なので、しっかり自分を磨く事。
- 就職課のキャリアカウンセラーを有効に活用する事。出来る子ほど、熱心に活用する傾向にあるので、より高い意識をもって、活用して欲しい。
- 就活には正解値がなく、本人達が一番辛い思いをしている。現在は、十数社を受けやっとな社の内定が得られるのが現実。周りの支えが必要。

第一部: 大学から見た就職活動に関して-2/2

質疑

- 学内の企業研究セミナーに関して
 - ✓ Webに適宜公開していくので、マメにチェックして欲しい。最初の頃は、大手が中心になってしまう傾向があるが、非常に高い技術力をもった優良企業は数多くあるので、細かくコンタクトする事が重要である。
- 語学力に関して
 - ✓ 外資系の企業ではTOEIC700以上を求めるところが多い。
 - ✓ 技術といえども英語は重要で、TOEIC700以上はエントリーシートでも非常に有利。
 - ✓ 面接においても、英語が苦手だ、嫌だ、と言う印象は絶対に与えないこと。
- 子供は親から「ああだ、こうだ」の意見を嫌がるが、学校ではどのように子供にアプローチしているのか？
 - ✓ 新入生ガイダンスにおいて、就活に関して話しているが、参加者はあまり多くない。
- OB訪問はどんなタイミングでやったらよいのか？
 - ✓ 大手に関しては、基本的にはOB訪問は公開していないので、会社説明会に同行したOBにコンタクトするのが一つの手か。
 - ✓ FaceBook等のツールを活用するのも有効なのは。
 - ✓ OBとのコンタクトは会社の状況を知るには有効だが、就活の結果を決定づけるものではない。



第二部:埼玉県職員の仕事と 受験の心構え-1/2

講師紹介

➤ 埼玉県県土整備部建設管理課 田中 勝也様

- ✓ 埼玉県職員の採用面接官の経験者であり、もと、民間企業(コンピュータ会社)から転職された職歴もお持ちなので、公務員という職種に関して、幅広い視点からのお話がいただけた。



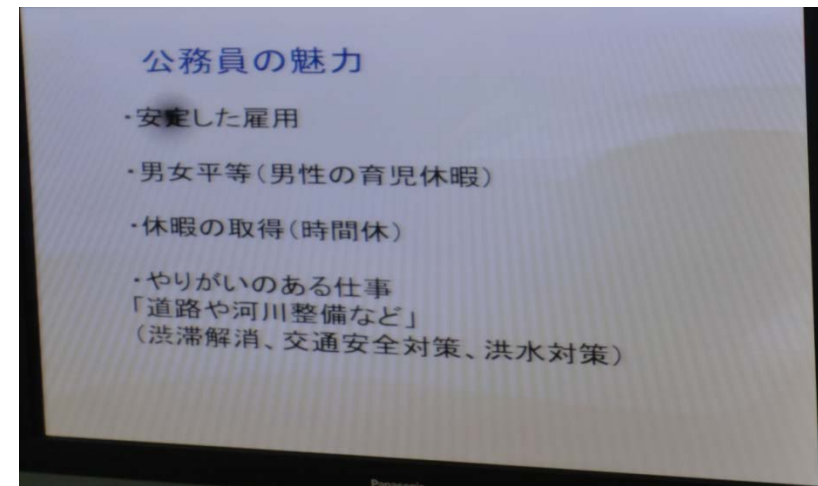
講演内容

- 県の職員と言えども、非常に多くの人員/職種がある。
 - ✓ 例えば、「街づくり」一つをとっても、環境整備、建築関係、公園企画等々多種多様の職種でなりたっており、自分が何をしたいのか、より具体的にしっかり考えて、面接に望む必要がある。
- 採用までの流れとして、一次試験(教養試験;100、専門試験;100)、二次試験(論文100、集団面接100、個別面接300)の計700の合計点で、最初の採用候補者名簿に登録される。次に、任命権者による面接により採用が確定する。
 - ✓ 集団面接の概要:7名程の受験者で答えのでないテーマでの議論を60分間行う。スコアのポイントは「成果をだす企画力」「自分の意見をしっかり伝えるコミュニケーション力」「他人の意見を無闇に批判しない」「集団の中における協調性と調整力」「発言回数」の5項目。
 - ✓ 個人面接の概要:単純に答えようのない質問に対する瞬時の反応力、埼玉県の職員採用なので、埼玉県への関心(知事のプログも参考になる)
- 面接においては大学名は伏せられて、人物像重視で行われる。
- ここ2~3年は定年退職者が多く、倍率は低下の傾向にある。
- 3年に一回ほどの転勤があるが、最初に選ぶ職種により以降の仕事の内容にも制限が掛かるので、事前によくチェックしておくこと。
 - ✓ インターシップの活用が、肌身で感じる事ができ、事前に知るうえではもっとも有効だと思う。
 - ✓ 県のHPに先輩からのメッセージが出ているので、そこから得られる情報も多い。また、このメッセージの内容は、面接において正に答えて貰いたい事が書かれている。

第二部：埼玉県職員の仕事と受験の心構え-2/2

質疑

- なぜ民間から転職されたのか？
 - ✓ バブル崩壊の時期でもあり、親友含め多くの人間が転職をした中で、自分は公務員を選択した。
 - ✓ 実際に公務員になってみて、雇用として安定しているだけでなく、全体を取り纏めて見ることができる、民間に先駆けた制度の導入(男子の育休等)があり、非常にやりがいを感じている。
 - ✓ また、昔のようなお役所仕事でなく、ディズニーランド的なサービスを目指しており、そんな意欲のある学生が来る事を期待している。
- 公務員専門学校の有効性は？
 - ✓ 具体的なデータはないが、個人的にはあまり差は無いと思っている。ただし、30代、40代の中途採用を目指す人には有効かとも思う。
- 行政区/行政区外からの受験にハンディはあるか？
 - ✓ 基本的にハンディはないが、面接において、必ず「なぜ、本県を選んだの？」と聞かれると思うので、しっかりとした答えを準備しておく必要がある。



第三部:理科大OG、現任教職員として-1/2



■ 講師紹介

- 東京理科大学卒業生 数学教諭 渡辺 マユコ様
 - ✓ 東京理科大学のOGであり、臨時採用→本採用を経て、行田市において現役の中学数学教諭をされており、学生に近い目線でのお話がいただけた。

■ 講演内容

- 4月末から5月始めに教員採用に必要な案内が公開されるので、良く見て、漫然と教職を目指すのではなく、教育に対する使命感をもち、健康で明るく、子供好きな人が、教員を目指して欲しい。
- 通常の授業以外に、部活もあり、時には経験のないスポーツにもトライする必要がある。まずは、体力。
- 採用試験は、筆記、面接、論文がある。試験に臨むに際しては、各県の教育委員会のHPに教育方針/教育理念が出ているので、それらをよく読んで望む必要がある。
- 論文はあるテーマに際して、「あなたは、どんな指導をしますか？」が多く、「知識を育てる」「心を育てる」を柱にして論文を構成すると良い。
- 道德の試験に関しては、一つの題材に対して、三人の試験官の前で模擬授業を行う。一名は優しく、一名は厳しく、一名は専門的に質問してくるが焦らず、率直にテキパキと答えるのが良いと思う。

第三部:理科大OG、現任教職員として-2/2

■ パネルディスカッション

- 東京理科大学生の教員希望者は5%程度と言われているが、渡辺先生の同期では北は北海道から南は沖縄までおり、理科大出身の教員は多く、皆さん実績を残している。
- 院生時代は勉強漬けの毎日だった。
- 最初の一年は初任者研修(条件付での採用)であり、無事過ぎると本採用になる。しかし、本採用以降も5年目研修、10年目研修があり、10年目には教員免許の更新(自費)が必要なる。常に自己研鑽が必要。
- 生徒指導においても、保護者を含めた日頃の人間関係が重要である。
- 数学の教師を目指したのは、子供達から「数学がおもしろくなった」「数学が分かるようになった」の言葉を聞くことが嬉しかったから。



【パネルディスカッションの様子】

左: 豊田 尚正 副支部長(小学校校長)

中: 渡辺 マユコ先生

右: 田中 綾子 副支部長(音楽教諭)

最後に

- 今回の相談会を通して、現在の就活の厳しさが親としても非常に実感できました。これを活かして子供のよき相談相手になればと思います。
- また、就活においては、
 - 積極的な情報収集と分析
 - しっかりとした目的意識をもち、話せる、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力
 - 面接における事前準備と瞬時の反応力が、重要である事を知ることができました。
- 講師の皆様、ありがとうございました。



【講師の皆様】

左:石川 港太郎 様
中:田中 勝也 様
右:渡辺 マユコ 様



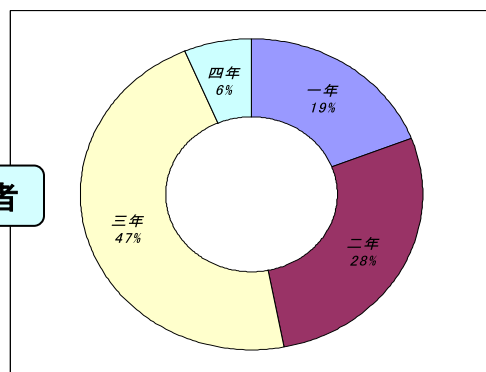
【講師の皆様とこよう会埼玉支部役員の面々】

アンケート結果

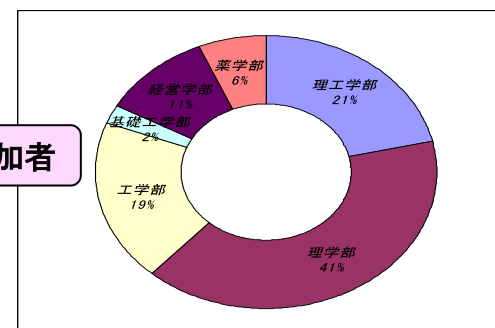
- 今回は150名以上の方に参加いただきました。
- アンケートにお答え頂いた(48名分)内容を集計結果は、



学年別参加者



学部別参加者



- やはり、三年生の保護者の関心が一番高いようですが、一年時より意識されている方も多いです。
- 学部には偏りがありますが、特に理由はないと思われます。

■ 主なご意見

- 就職活動の現状と、また、そのために低学年のうちからやっておくべき事について詳しい話が聞けてよかった。
- とても役に立ちました。義務教育と違い、親も学校に足を運ぶ機会が少なくなるので、このような企画は非常に良いと思います。
- 子供と話し合う時の参考になった。今聞けてよかった内容が殆どでした。
- 県職員、教員について生の声が聞けたので本当に為になりました。
- 子供本人にも聞かせたい内容でした。
- まだまだ、遠いと思っている子供に早めの準備の話をしてあげられるので、一年のときから聞いておいて良かったと思いました。
- 自分達の世代と違う就職の大変さが理解できた。もう少し早い時期のほうが良いのでは。
- 埼玉支部なので、場所は埼玉県内でも良かったのでは。

---以上---